



平成29年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年9月5日

上場会社名 株式会社アマガサ 上場取引所 東
 コード番号 3070 URL <http://www.amagasa-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天笠 竜蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 鈴木 親 TEL 03-3871-0111
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第2四半期の連結業績（平成28年2月1日～平成28年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第2四半期	3,471	△9.6	19	△89.0	11	△93.4	0	△99.4
28年1月期第2四半期	3,840	1.9	173	△11.3	170	△3.6	58	△44.6

(注) 包括利益 29年1月期第2四半期 △33百万円 (ー%) 28年1月期第2四半期 74百万円 (△27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第2四半期	0.20	ー
28年1月期第2四半期	31.33	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第2四半期	5,981	2,041	34.1	1,095.45
28年1月期	5,744	2,103	36.6	1,129.18

(参考) 自己資本 29年1月期第2四半期 2,041百万円 28年1月期 2,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	ー	0.00	ー	16.00	16.00
29年1月期	ー	0.00	ー	ー	ー
29年1月期(予想)	ー	ー	ー	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年1月期の連結業績予想（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	6,932 △4.6	53 △71.1	33 △81.8	10 △78.3	5.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年1月期2Q	1,920,000株	28年1月期	1,920,000株
② 期末自己株式数	29年1月期2Q	56,800株	28年1月期	56,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年1月期2Q	1,863,200株	28年1月期2Q	1,863,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料については、平成28年9月9日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における婦人靴業界におきましては、消費者の節約志向が引き続き強く低価格商品への需要が高まる等、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境のもと、当社は、従来の方針を維持し、デザイン性を追求した高付加価値商材の積極的な投入、適正価格の維持に努めたものの、非常に苦戦を強いられました。

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高3,471百万円(前年同期比9.6%減)、営業利益19百万円(同89.0%減)、経常利益11百万円(同93.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円(同99.4%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(卸売事業)

卸売事業におきましては、昨年から続いているスニーカーなどの強いスポーツトレンドに対応できなかったこと等により特に専門店向け販売が前年を大きく下回りました。その結果、売上高は1,258百万円(前年同期比19.1%減)、営業利益は234百万円(同14.3%減)となりました。

(小売事業)

小売事業におきましては、JELLY BEANSピオレ明石店、イオンモール水戸内原店、イオンモール名取店、セブンパークアリオ柏店、シャミネ松江店を出店したことにより7月31日現在の直営店舗数は38店舗となりました。直営店舗数は増加しましたが、既存店の売上高が前年同期比13.3%減、百貨店向け販売においても同8.1%減となりました。

これらの結果、小売事業における売上高は2,011百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は183百万円(同41.3%減)となりました。

(EC事業)

EC事業におきましては、通販サイト向け販売が前年を上回ったことから、売上高は201百万円(前年同期比0.8%増)となったものの、人件費等の増加により営業利益は28百万円(同18.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,365百万円(前連結会計年度末は2,116百万円)となり、248百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加(917百万円から1,118百万円へ201百万円増)、商品在庫の増加(396百万円から435百万円へ38百万円増)及び現金及び預金の増加(781百万円から791百万円へ10百万円増)であります。

また、固定資産の残高は、3,616百万円(前連結会計年度末は3,627百万円)となり、11百万円減少しました。主な理由は、固定資産の取得による増加(92百万円増)、減価償却による減少(99百万円減)及び差入保証金の増加(15百万円増)であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,006百万円(前連結会計年度末は1,767百万円)となり、239百万円増加しました。主な理由は、電子記録債務の増加(638百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(745百万円から809百万円へ64百万円増)及び支払手形及び買掛金の減少(732百万円から236百万円へ496百万円減)であります。

また、固定負債の残高は、1,933百万円(前連結会計年度末は1,873百万円)となり、60百万円増加しました。主な理由は、運転資金の調達による長期借入金の増加(1,608百万円から1,690百万円へ81百万円増)、リース債務の減少(137百万円から108百万円へ29百万円減)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,041百万円(前連結会計年度末は2,103百万円)となり、62百万円減少しました。主な理由は、配当金の支払い29百万円による減少、為替換算調整勘定の減少(34百万円から15百万円へ18百万円減)及びその他有価証券評価差額金の減少(34百万円から19百万円へ14百万円減)であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて48百万円増加し、527百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は49百万円(前年同期は232百万円の支出)となりました。

これは主に、仕入債務の増加額142百万円、減価償却費99百万円に対し、売上債権の増加額200百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は71百万円(前年同期は91百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出91百万円、有形固定資産の取得による支出78百万円及び差入保証金の差入による支出15百万円に対し、定期預金の払戻による収入118百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は77百万円(前年同期は79百万円の収入)となりました。

これは、長期借入れによる収入600百万円に対し、長期借入金の返済による支出454百万円、リース債務の返済による支出38百万円及び配当金の支払額29百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成28年8月10日付公表「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の数値より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	781,960	791,997
受取手形及び売掛金	917,673	1,118,708
商品及び製品	396,486	435,305
その他	22,958	22,027
貸倒引当金	△2,300	△2,800
流動資産合計	2,116,778	2,365,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,460,886	1,473,967
土地	1,529,346	1,529,346
その他(純額)	63,447	70,352
有形固定資産合計	3,053,680	3,073,666
無形固定資産	169,870	144,921
投資その他の資産	※2 403,998	※2 397,419
固定資産合計	3,627,549	3,616,008
資産合計	5,744,327	5,981,247
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	732,734	236,669
電子記録債務	—	638,159
1年内返済予定の長期借入金	745,059	809,411
未払法人税等	7,562	14,940
返品調整引当金	9,700	11,500
その他	272,157	295,679
流動負債合計	1,767,212	2,006,359
固定負債		
長期借入金	1,608,936	1,690,022
退職給付に係る負債	112,113	121,268
その他	152,159	122,553
固定負債合計	1,873,209	1,933,843
負債合計	3,640,422	3,940,203

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,567,594	1,538,159
自己株式	△71,056	△71,056
株主資本合計	2,035,237	2,005,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,584	19,725
為替換算調整勘定	34,082	15,515
その他の包括利益累計額合計	68,667	35,240
純資産合計	2,103,905	2,041,043
負債純資産合計	5,744,327	5,981,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
売上高	3,840,161	3,471,950
売上原価	2,363,252	2,078,427
売上総利益	1,476,908	1,393,522
販売費及び一般管理費	※ 1,303,791	※ 1,374,425
営業利益	173,117	19,097
営業外収益		
受取利息	1,394	729
受取配当金	1,013	1,200
受取保険金	12,688	—
その他	2,882	2,534
営業外収益合計	17,978	4,464
営業外費用		
支払利息	15,860	10,412
その他	4,699	1,869
営業外費用合計	20,560	12,282
経常利益	170,536	11,279
特別損失		
固定資産売却損	—	908
減損損失	6,017	598
下請代金返還金	62,040	—
特別損失合計	68,058	1,507
税金等調整前四半期純利益	102,477	9,772
法人税等	44,098	9,395
四半期純利益	58,379	376
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,379	376

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	58,379	376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,474	△14,858
為替換算調整勘定	3,233	△18,567
その他の包括利益合計	15,707	△33,426
四半期包括利益	74,087	△33,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,087	△33,050
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	102,477	9,772
減価償却費	101,313	99,258
減損損失	6,017	598
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,471	9,154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	635	△104
返品調整引当金の増減額(△は減少)	3,500	1,800
受取利息及び受取配当金	△2,408	△1,930
支払利息	15,860	10,412
下請代金返還金	62,040	—
受取保険金	△12,688	—
売上債権の増減額(△は増加)	△263,490	△200,382
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,042	△38,819
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,857	142,093
その他	△80,091	31,307
小計	△148,261	63,161
利息及び配当金の受取額	2,408	1,930
利息の支払額	△15,891	△10,444
下請代金返還金の支払額	△62,040	—
保険金の受取額	39,993	—
法人税等の支払額	△49,059	△4,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	△232,851	49,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△147,159	△91,685
定期預金の払戻による収入	144,650	118,725
投資有価証券の取得による支出	△1,236	△1,355
有形固定資産の取得による支出	△46,070	△78,755
無形固定資産の取得による支出	△1,739	△3,390
差入保証金の回収による収入	13,700	—
差入保証金の差入による支出	△52,120	△15,462
その他	△1,719	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,696	△71,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△449,128	△454,562
配当金の支払額	△29,848	△29,769
リース債務の返済による支出	△41,788	△38,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	79,234	77,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	489	△6,380
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△244,823	48,536
現金及び現金同等物の期首残高	641,070	479,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 396,247	※ 527,561

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。